

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立の株式会社 放課後等デイサービス キッズブライム阿見ショッピングモール教室			
○保護者評価実施期間	2025年3月29日 ～ 2025年4月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年3月29日 ～ 2025年4月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童個人に対し、個別支援計画に則って体調・状況に応じた支援や関わりを提供している。	児童のやりたいことを応援し、主体性を重視している。 壁面装飾物を定期的に更新し、活動内容を児童に周知し興味の拡大を図っている。	利用児童と一緒に教室新聞を制作・発行し、掲示公開することを検討する。
2	利用児童がわかりやすい事業所環境の設定に努めている。	月ごとのイベントカレンダーの作成・掲示、動的・静的な活動場所の物理的環境分け、イベントの配置設定を行っている。 季節行事を取り入れ、作品を掲示している。	利用児童の発達に合わせた机や玩具の更新を検討する
3	利用児童のやりたいことを尊重した関わりを行う。	活動への参加方法がわからない児童に対しては、職員から提案して興味・関心の拡大を図り、コミュニケーションを楽しむ経験の提供をしている。 視覚的にわかりやすい玩具のカタログボードを作成し、使用したい玩具の伝達を誰でもできるよう工夫している。	好みの活動において、特定の遊びの中の幅の拡大や、楽しんで取り組める遊び、コミュニケーション能力を伸ばすための介入を職員間で検討し、取り入れる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケート結果より、定期的な保護者等との面談・助言について不十分と思われるご家庭があった。定期的な面談を望む声や、保護者からの相談・申入れに対する事業所の対応が不十分を感じる意見が見られた。	送迎時に当日の様子を話すか、日常生活での困りごとなど多岐に渡る状況についての相談・助言をする機会が作れていない。不定期で保護者参加型のイベントを開催してはいるが、曜日・祝日に関わらず仕事に出られている家庭については参加が難しく、こちらで準備している場を十分に活用できない状況もある。これらの要因によって左記の課題が指摘されたものとする。	面談希望者に対する事業所の受け入れ体制が明確になっていない現状がある。面談希望者について方針を取り決め、希望する保護者等に対し児童の療育業務に抵触しない形で定期的な面談機会の提供を検討する。
2	事業所内でのミーティング習慣が途切れていた。情報共有が不十分な部分があったため、改善が必要。個別支援計画等の要更新書類について更新があった際に共有を行っているが、新入職員が更新以前の書類を把握していない状況にあった。	必要な情報提供を口頭および連絡ツールを用いて実施して共有を完了した認識をしていたが、勤務状況によって伝達が不十分な状況があった。	当日出勤者のみで伝達が途切れないよう、随時目視確認ができるノートに共有事項を記載する。
3	事業所内外の活動風景をInstagram等SNSで発信する取り組みを行っているが、これが滞っていた。事業所内の様子をオープンにするため、早期改善を図る。	業務優先順位が下位になっていたため。	近い日程の物から投稿を再開する。